

連携医院のご紹介

今回は、広島市南区宇品にある女性と青少年のための心療内科・精神科「メンタルクリニックラッコリン」の中村 道彦院長に伺いました。



中村 道彦 院長

メンタルクリニックラッコリン

〒734-0003
広島市南区宇品東2丁目7-7-1
電話 / 082-258-1491
院長 / 中村 道彦
診療科目 / 心療内科・精神科



待合室はカウンター席仕様です



Mental Clinic RakkoRin
メンタルクリニックラッコリン
Tel: 082-258-1491

看板に描かれているマスコット

○いつ開業されましたか。

広島市南区翠町で幼少期を過ごし、大学より県外へ出て、京都府立医科大学で精神医学を学びました。その後カナダへの留学や東京都精神医学総合研究所での勤務などを経て、京都教育大学保健管理センターで精神医学に携わってきました。センターを退職後、両親の住む、生まれ育った地への望郷の念と、地域への貢献の思いから、広島へ戻り2011年9月に開業いたしました。

京都教育大学においては、児童青年期の心の健康不調のほかに、不安や抑うつ診断、学生のメンタルヘルス、学校などにおける怒りのコントロールや自殺防止対策の心理教育などに携わっております。この経験から青少年のための心療内科を開業したいという思いとなりました。子どもの問題は母親の関わりが大きく、母親である女性への支援も重要と考え「女性と青少年のための心療内科・精神科」として開業することにしました。病院名は、自身のあだ名であった「らっこ」と一緒に診療を補助してくれる妻の名の一字である「りん」とあわせて「ラッコリン」と名付けました。

○開業されてから今までの事を教えてください。

精神科にかかるというハードルの高さを考慮して、病院らしくない建物で入りやすく、アットホームな雰囲気ですらリラックスして受診してもらえるよう外観を工夫しています。来られている患者さんの3~4割は学生で、その他はそのお母さん方をはじめとした女性です。現代の多様化してきている時代においては、今の教育制度の枠に入れず、生

きづらさを感じ適応できない子供たちが多くなっていると感じています。開院当初は中高生が多かったのですが、昨今は小学生も多くなってきている印象があります。

○毎日の診療で大切にされている事は何ですか？

次の世代を担う子供たちのために、親子がともに元気に過ごせるよう、サポートができればとの思いで、心の健康不調で悩んでいる人に寄り添って、その方を支え、健康増進していくことをモットーにしています。今も依頼があれば学校、地域、職場での講演も行っており、障害や病気に対する知識の普及に努めています。

○県病院はどんなところでですか。

県病院の近くで生まれ育ち、父母も受診したことがあります。また母も妹も薬剤師として戦後県病院で勤務していました。私にとっては、今も昔も関わりの深い、とても近い存在の病院です。



メンタルクリニックラッコリン外観

【取材後記】

外観も住宅風の医院で入りやすく、院内も木のぬくもりを感じられる落ち着いた空間でした。優しく穏やかに話して下さる中にも、子供さんや女性の心身の健康と取りまく社会環境や教育に熱い思いを持っておられる先生と感じました。

もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。
県立広島病院で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

第128号
2019.10.1
発行



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

皮膚科

教えて

Dr. 30

患者さん向け

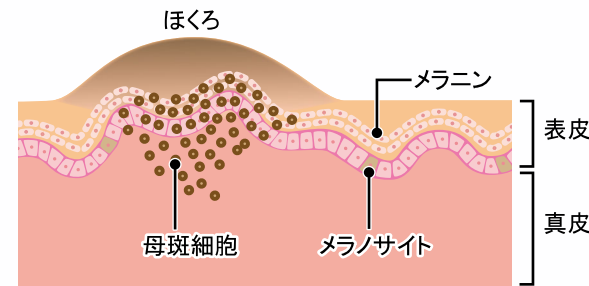
専門診療医による得意治療を紹介いたします。

ほくろ について

皮膚科部長
田中 麻衣子

◆ほくろとは

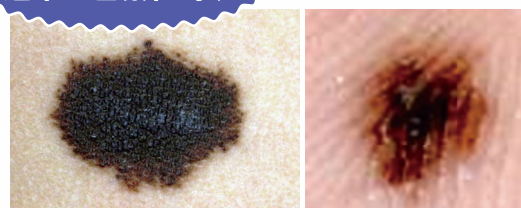
一般にほくろと言っているのは、医学的には「黒子(こくし)」や「色素性母斑(しきそせいぼはん)」という良性のできものです。皮膚にはメラノサイトというメラニン色素を作る細胞がいるのですが、そのメラノサイトや、母斑細胞と呼ばれる細胞が増えるできものです。母斑細胞は、メラノサイトと同じ由来の細胞ですが、メラノサイトが基本的には表皮の基底層と言われる部分にあるのに対して、母斑細胞は真皮など、皮膚のいろいろな場所に固まって増えます。このため、ほくろの一部は丸く盛り上がったりますのです。



◆形も出てくる場所も様々

ほくろには平べったいもの、丸く盛り上がったもの、生まれつきあるもの、大人になってから出てくるもの、いろいろとあります。頭の中にできたものは、ほくろなのに色が全然黒くないこともあります。皮膚のどこにでもでき、その人のチャームポイントになりますね。

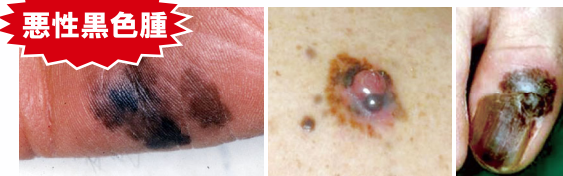
通常の色素性母斑



◆ほくろのがんについて

ほくろと同じ、メラノサイト・母斑細胞でできた悪性のがんを「悪性黒色腫(あくせいこくしょくしゅ)」と言います。英語では malignant melanoma ですが、これより「メラノーマ」とも呼ばれています。人種によって差がありますが、日本人ではもともと良性のほくろが悪性化して悪性黒色腫になることは稀で、ほとんどは最初から悪性黒色腫として出現し、大きくなります。また日本人では手足や爪に生じることが多い、という特徴があります。

悪性黒色腫



日光に含まれる紫外線は、悪性黒色腫を引き起こす原因の一つです。光老化といって、紫外線はお肌のシミやシワ、たるみの原因にもなりますので、最近では必要以上に日光を浴びる必要はないと考えられています。

◆ほくろか悪性か見分けるには

ほくろと悪性黒色腫をどうやって見分けたいのでしょうか。一般には下記の特徴がいくつか当てはまると、悪性黒色腫の恐れがでできます。

CHECK

- 形が非対称
- 辺縁に染み出しがある
- 色むらがある
- 大きさが6~7mm以上
- 盛り上がってくる
- 急に大きくなる

ただし、大きいからと言って全部が悪性とも限りませんので、気になるほくろはまず皮膚科で相談してみると良いでしょう。



次頁は医療従事者向け

県立広島病院からのお知らせ

10月のがんサロン

開催日 令和元年 10月16日(水)
時間 14:00~15:30
場所 新東棟2階 総合研修室
テーマ 『もっと知りたい! 肺がん』
講師 消化器・乳腺外科部長/真次 康弘
臨床腫瘍科/藤井 康智
対象 悪性腫瘍(がん)の患者さん及びそのご家族
当院での受診歴は問いません
問合せ先 がん相談支援センター
☎082-256-3561 (担当/橋本)

南区大腸がん講演会

開催日 令和元年 10月11日(金)
時間 13:30~15:00
場所 南区役所別館 4階大会議室
(広島市南区皆実町1-4-46)
テーマ 『もっと知ろう! 大腸がんのこと』
講師 消化器・乳腺・移植外科部長/池田 聡
定員 先着100名(事前に申込が必要です)
問合せ先 広島市南保健センター(健康長寿課)
☎082-250-4108 FAX 082-254-9184

参加費
無料

★講演会終了後、栄養相談を実施します。
★高齢者いきいき活動ポイント手帳の対象事業です。

◆ほくろ(色素性母斑)の治療について

先天性の色素性母斑はしばしば大きさが6~7mmを超えることもあります。基本的には良性ですので急いで切除をする必要はありません。ただ、大きさが20cmを超えるような母斑では悪性化のリスクが高まります。大型の色素性母斑は早期の切除を考慮します。全身に巨大色素性母斑があるような症例では、現在は自家培養表皮移植も保険適応となりました。

後天性に生じた色素性母斑については、悪性化が疑われる場合や、足底の病変など繰り返しの外的刺激を受ける場合、整容面で問題となるような際は切除を考慮します。CO2レーザーでの焼灼もひとつの治療法ではありますが、個人的には切除の方が病理組織像を確認できるためより確実と考えます。

爪の色素性病変については、子供さんは自然消褪があるためしばらく様子を見ます。逆に成人の爪の色素性病変で、爪幅の3分の1を超えたり、拡大傾向があったりなど、悪性が疑われる所見がある病変は積極的に切除します。

◆悪性黒色腫の治療について

悪性黒色腫の進行は、腫瘍の深さと関係することが知られています。表皮内にとどまった in situ 病変であれば拡大切除で治癒も見込めますが、腫瘍の厚みが4mmを超えると TNM 分類で T4 に分類され、少なくとも Stage IIb 以上になります。(体のどこかに厚さがたった4mmで T4 になるような腫瘍が他にあるのだろうか?とこの腫瘍を見る度にいつも驚いています。)

早期発見・早期切除が重要であることは間違いのないのですが、進行期の悪性黒色腫の治療は、2014年にニボルマブが発売されて以来大きく変化しました。

分子標的薬として BRAF 阻害薬のベムラフェニブやダブラフェニブ+トラメチニブ、エンコラフェニブ+ビニメチニブといった BRAF 阻害薬+MEK 阻害薬の併用ができるようになっています。

また免疫チェックポイント阻害薬のニボルマブ、イピリマブ、ペムブロリズマブに加えてニボルマブとイピリマブの併用療法も行うことができるようになりました。

従来のダカルバジンを中心とした化学療法よりも効果が期待される一方で、日本では欧米では稀な末端黒子型(acral melanoma)が多いため治療効果を欧米と直接比較できず、今後も日本人での効果の検討は重要と考えられます。



カンファレンスの内容をお伝えします!



脳心臓血管カンファレンス

脳心臓血管センター長 / 上田 浩徳

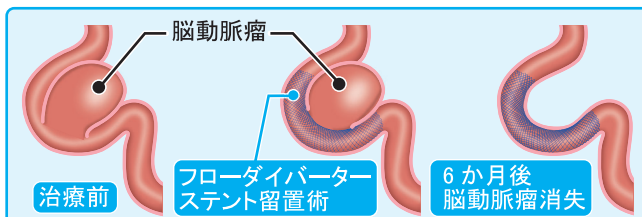
内頸動脈海綿静脈洞部動脈瘤に対する脳血管内治療

【脳神経外科・脳血管内治療科】
前田 雄洋 / 岐浦 禎展

内頸動脈海綿静脈洞部動脈瘤の発症頻度は全脳動脈瘤の2~9%で巨大動脈瘤の10%、特徴は41%が多発性で、19%が両側性に認められると報告されています。症状はその増大する方向と、出血および塞栓症(脳梗塞)の発症によって生じます。増大方向が内側では下垂体機能障害、外側では海綿静脈洞症候群、前方では上眼窩裂症候群、後方では骨破壊や難聴が生じます。出血が起これば頸動脈海綿静脈洞瘻や急性硬膜下血腫をきたし、鼻出血を伴います。手術の適応は①出血②症候性③増大傾向です。

未破裂脳動脈瘤の破裂予防治療は、直達手術による「開頭クリッピング術」と脳血管内治療(カテーテル治療)による「脳動脈瘤コイル塞栓術」が従来から行われていますが、10mmを超える大型および巨大脳動脈瘤は、治療困難とされてきました。

今回話題としました内頸動脈海綿静脈洞部動脈瘤に生じる巨大動脈瘤に対して、カテーテルを用いて非常に網目の細かい金属メッシュのステント(フローダイバーターステント; PipelineTM Flex)を脳動脈瘤の入り口を覆うように血管の中に留置することで、脳動脈瘤内の血液を血栓化させ脳動脈瘤そのものを縮小させてしまう新しい治療法が2015年から本邦でも可能となっています。治療可能な施設は限定されますが、当院でも行っております。



外科医の独り言...no.96

— がん教育 —

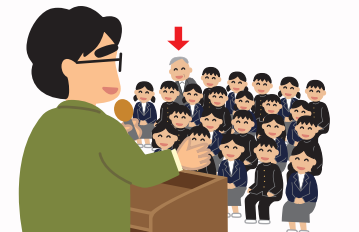
先日、広島市近郊の某中学校で授業をしました。若い世代からがん教育を推進し、がんを予防しようという試みで、国は学校教育にがんに関する授業を組み入れていこうとしています。今はまだ、導入を見据えた試験的な段階のようですが、広島県と広島市教育委員会からの依頼を受けて授業をすることになりました。文部科学省が作成した「がん教育推進のための教材」が用意されていますが、学校の先生が授業をすると専門外であるため、どのように授業を進めて良いかわからない、というも当然だと思います。

今まで私は、企業、大学、看護学校や各地域の老人会など様々なコミュニティでがんの講演会を行ってきましたが、必ず笑いをとるスライドを何枚か入れていました。ですが、中学生相手にがんの話をするのは今回が初めてであり、どのように話を進めるのが良いか、どこでどのような笑いをとるかを真剣に考えていました。とりあえず「がん教育推進のための教材」を覗いてみることにしました。

教材をめくるとまず1ページ目に、本教材を活用するに当たっての留意事項として「命についての授業になります。生徒の家庭状況や心理面についての配慮が必要です」と書いてありました。不用意な発言は慎めよ、笑いをとる必要なし、と解釈したのですが、考えるまでもなくこれは教育の現場だけでなく、医療の現場でも当たり前なことだと納得しました。この学校では、事前にアンケートを行い、家庭の事情(身内にがんの患者さんがいる)などでがんの話聞きたくない生徒の確認を行ったそうです。見知らぬ講師がやってきて、無責任なことをしゃべって帰ったあと、生徒に心理的なストレスを加えてはいけないという細やかな配慮がなされていましたが、授業を受けたくないと言った生徒はいなかったそうです。かといって、真面目な話ばかりでは退屈だし、昼食後の授業だから

眠くなるだろうなというのも容易に想像できます。文部科学省の教材は、資料も含めて112枚のスライドで構成され、わかりやすく平易な言葉で書かれており、イラストも多いので良くできていると感心しました。しかし、笑いをとれるスライドがない、盛りだくさん過ぎてこれを1時間の授業ですべて話すのはまず無理だということに気づきました。

笑いをとることは諦めました。いつも自分が様々なコミュニティでの講演に使用しているスライドから、まず笑いをとるスライドを外し、教材からこれはというスライドを加えて授業に臨むこととしました。スライド枚数は、53枚となりました。生徒約70名、先生約10名を前に、がんという病気の仕組み、原因、自分でできる予防法、早期発見してがんを治すために検診を受けることの重要性、治療法の選択にはインフォームドコンセントが必要であり、納得がいかなければセカンドオピニオンも利用できる、そして生活の質と自分の価値観を大事にして自分らしく生きなければならないことを話しました。案の定、ドカーンと笑いが来たのはわずか1回でしたが、皆、寝ずに真剣に聞いてくれました。そのドカーンは、飲酒の話をした時にやって来ました。そもそも中学生には飲酒の話をして実感もなさそうでした。しかし、この話になると急に身を乗り出すようにして興味を示された男性がいました。こんな話はがん教育に全く関係ないので止めようと思いつつも、その男性に敬意を表して、飲酒に関する笑いネタを一発話したところ、意外にも生徒にバカ受けしました。もちろん一番受けが良かったのは、最後列で身を乗り出すようにして聞かれていた、ちょっとお腹ポッコリの校長先生でした。



副院長(消化器センター長・緩和ケア科主任部長) 板本 敏行

入院時必需品
レンタルシステム

ケア・サポート

CSセットについて

当院では、より快適な入院生活を送っていただくため、また洗濯などの負担を軽減することを目的に、入院の際に必要な衣類、タオル類、日用品等を外部専門業者による日額定額制のレンタルでご利用いただける『CS(ケア・サポート)セット』(有料)を行っております。詳しい内容につきましては中央棟1階のCSセット受付カウンターにて受付しておりますので、お気軽にお尋ねください。



9月より場所を移動しています

CSセット受付場所